

# 第5回意見交換会資料

都市計画道路浦和野田線

---

令和6年11月1日



埼玉県

- 1 検討状況に関する報告
  - (1) 出津橋周辺の円滑な横断手法
  - (2) 生活環境対策のうち騒音対策について
- 2 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ
- 3 今後のスケジュール

## 1 検討状況に関する報告

### (1) 出津橋周辺の円滑な横断手法

### (2) 生活環境対策のうち騒音対策について

## 2 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

## 3 今後のスケジュール

# 出津橋周辺の円滑な横断手法（昨年度までの振り返り）

スロープ+階段案



本線半地下案



出津橋(現状)



橋上公園事例(古利根公園橋(春日部市))



## 道路の横断に関していただいている主な意見

- 荻島地区住民にとって北越谷地区は必要生活圏である。そのため、高齢者や障害者等が安全に時間をかけずに横断できるような構造とすること。
- 出津橋と横断歩道橋を一体化し、スムーズに浦和野田線を横断できるようにしてほしい。
- 文教大の入り口に近い箇所に新しい橋を架橋できないか。
- 出津橋本橋について、今でもかなりの通行量があるため、幅を広げてもらいたい。
- 出津橋が地域のシンボル・憩いの場となるよう橋上公園として整備してもらいたい。

## 令和6年度検討内容

河川や道路の構造的な制約を踏まえた上で、**安全性、利便性に最大限配慮した構造を複数案検討していく。**

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 1案：横断歩道橋案（過年度計画案）

### 横断歩道橋を利用して道路を横断する案

- スロープにより、**車いすや自転車利用者が横断可能**。
- 冠水や渋滞などが発生する可能性が低く、**道路利用者や沿道利用への影響が少ない**。
- スロープを通行する車いすや自転車利用者は**現状よりも横断距離が長くなる**。

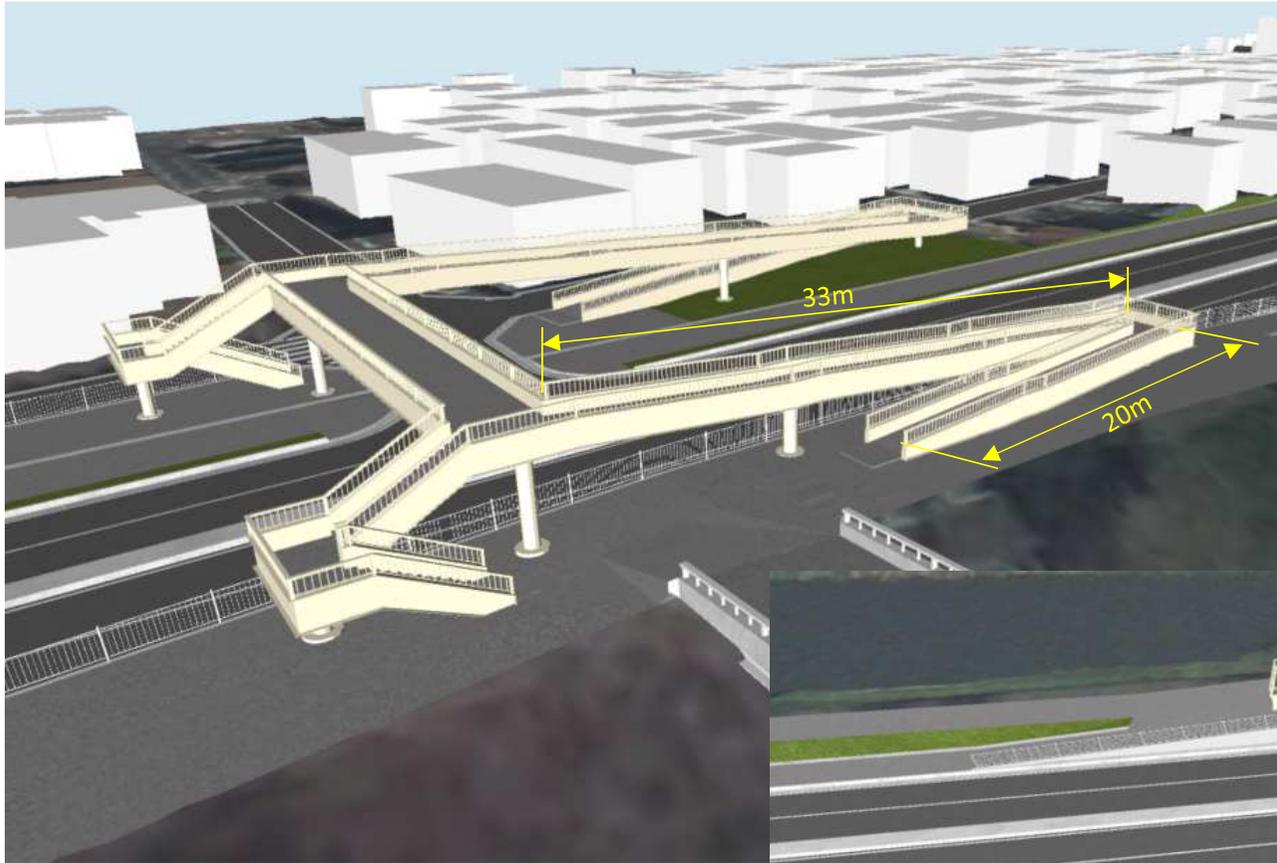
### 整備イメージ



表示している内容は検討の前提のものであって、確定していることではない

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 1案：横断歩道橋案（過年度計画案）



スロープを通行する車いすや自転車利用者は現状よりも横断距離が長くなる。

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 2案：半地下案

### 計画道路を半地下構造にして、道路上を横断する案

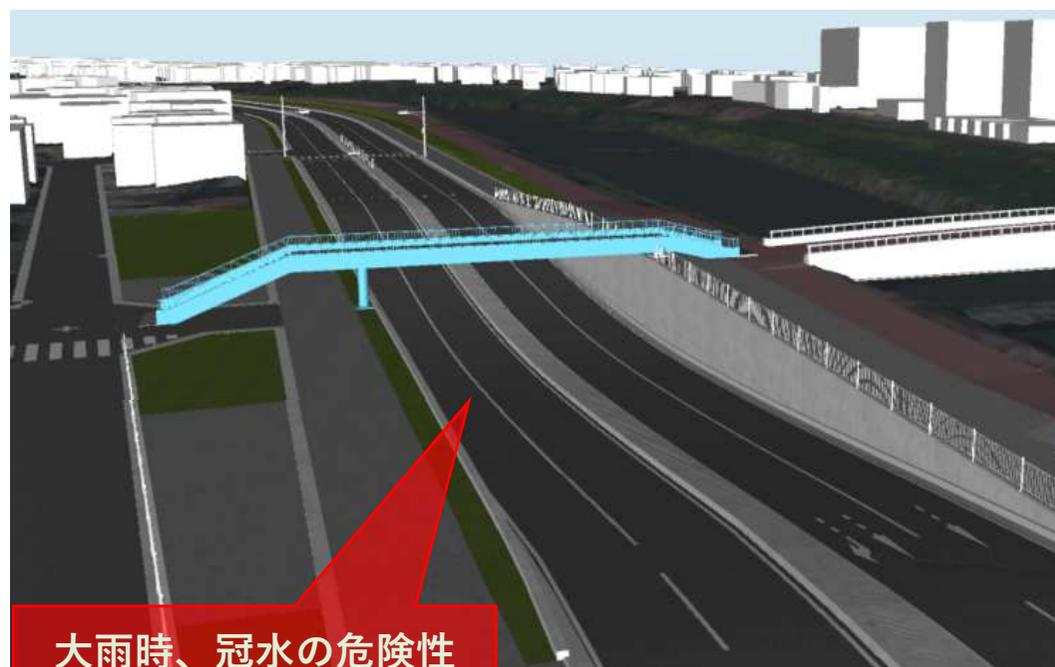
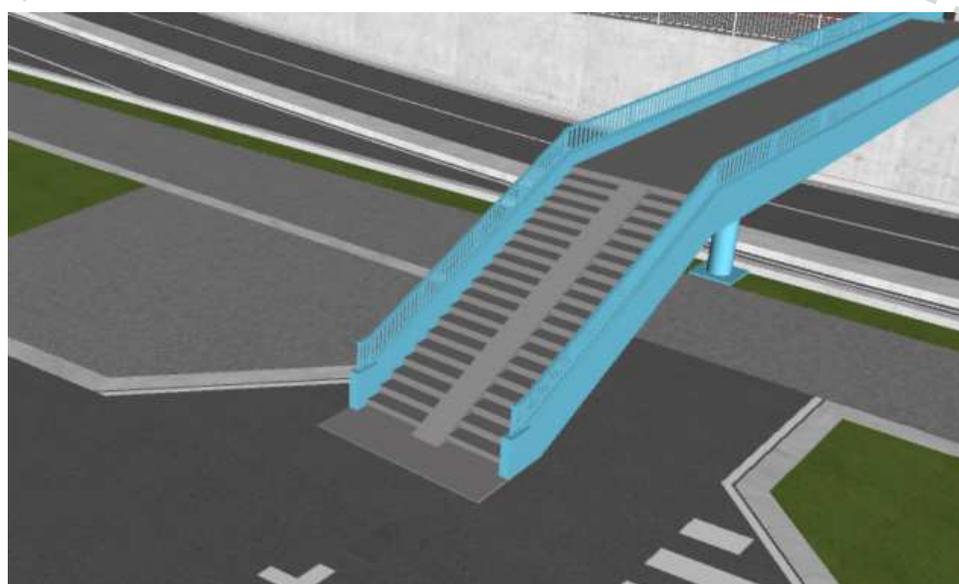
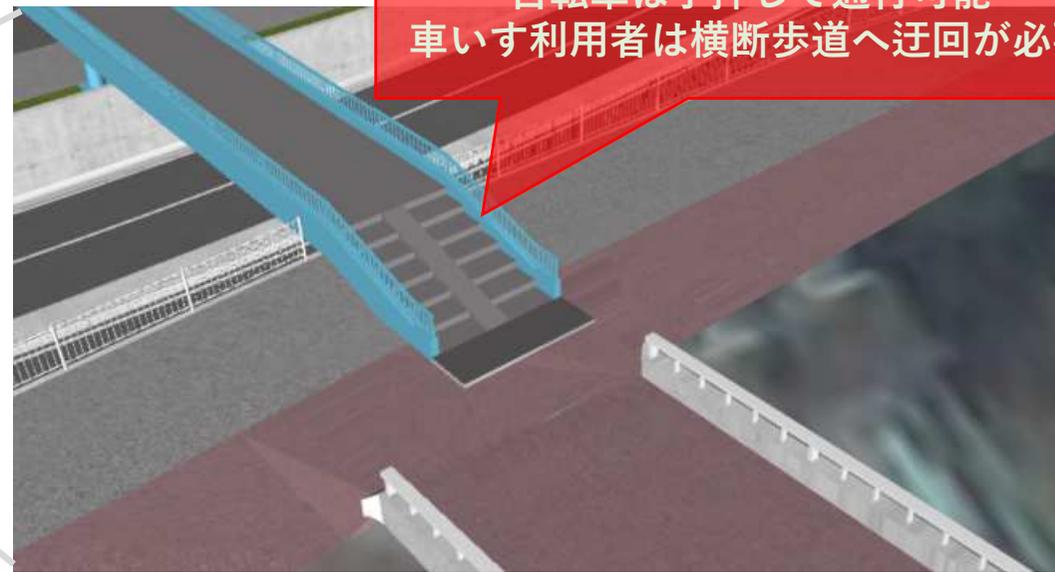
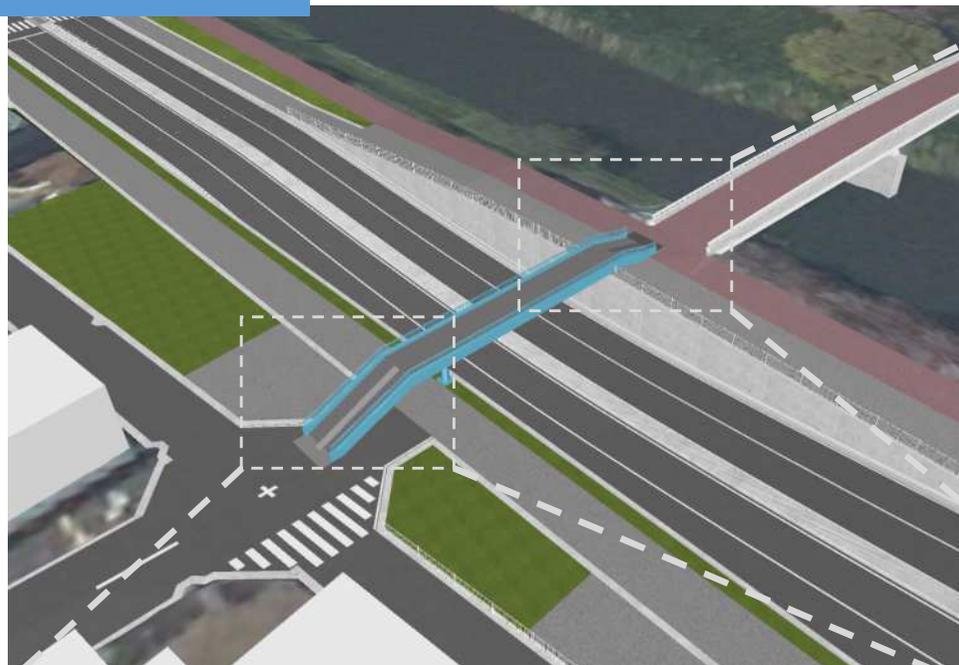
- 歩行者と自転車利用者は、**現状とおおむね変わらない直線的なルートで横断可能。**
- スロープが設置されていないため、**車いす利用者は前後の横断歩道へ迂回**して横断する必要がある。
- **大雨時に冠水する可能性があり**、道路利用者への影響が大きい。

### 整備イメージ



# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 2案：半地下案



表示している内容は検討の前提のものであって、確定していることではない

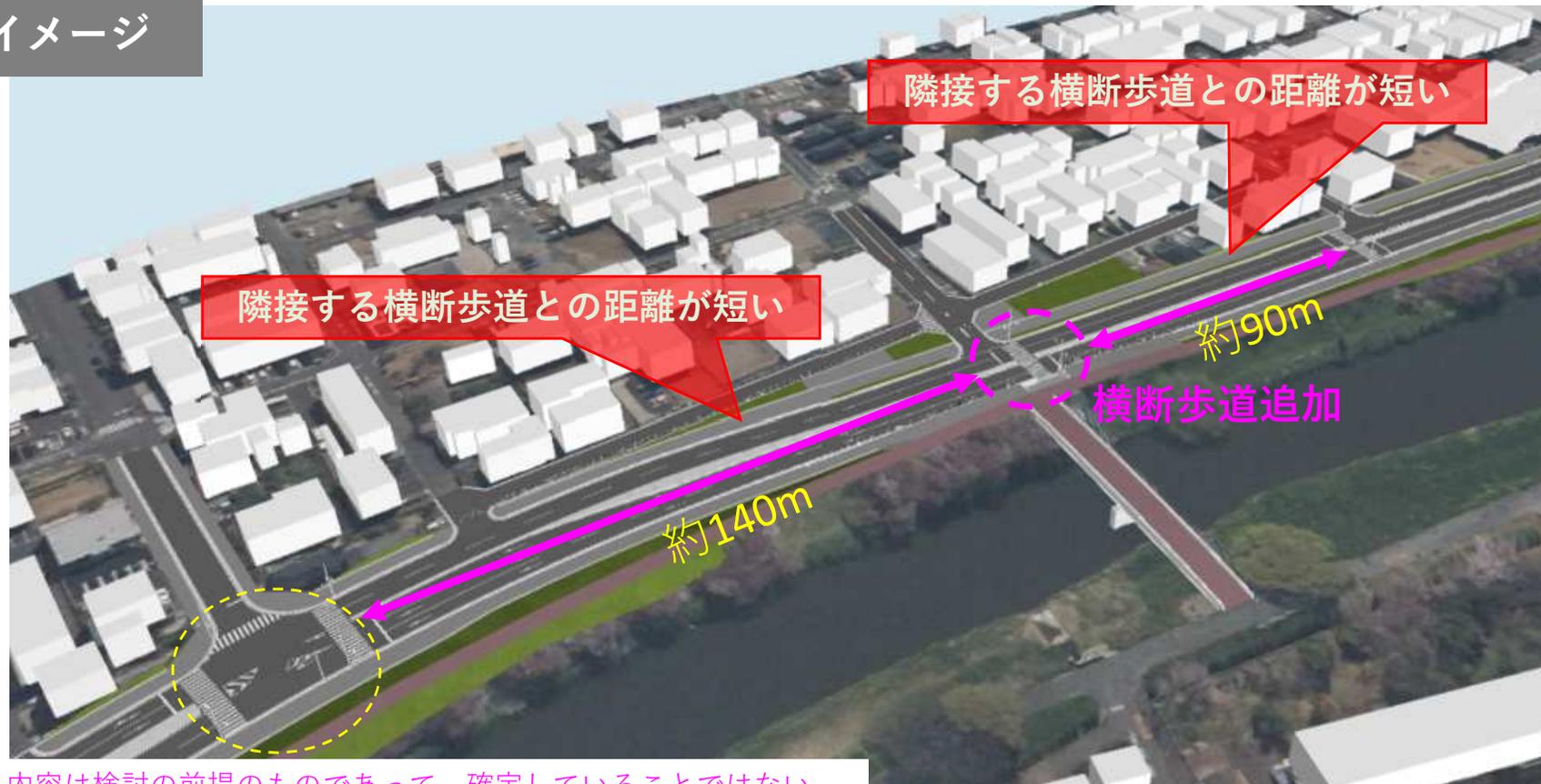
# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 3案: 横断歩道追加案

### 道路と出津橋を連続して横断できる位置に横断歩道を設置する案

- 歩行者は、現状と同様に**出津橋前からおおむね直線的な移動が可能**。
- 道路に高低差を設けないため、**冠水する危険性が低い**。
- 出津橋の利用には階段が必要となり、**車いすや自転車利用者は前後の横断歩道へ迂回**して横断する必要がある。
- 信号付き横断歩道が増えることで、**通行車両の渋滞発生や歩行者の信号待ちが発生**する可能性がある。
- **隣接する横断歩道との距離が近い**ため、**信号機の誤認のおそれがある**。

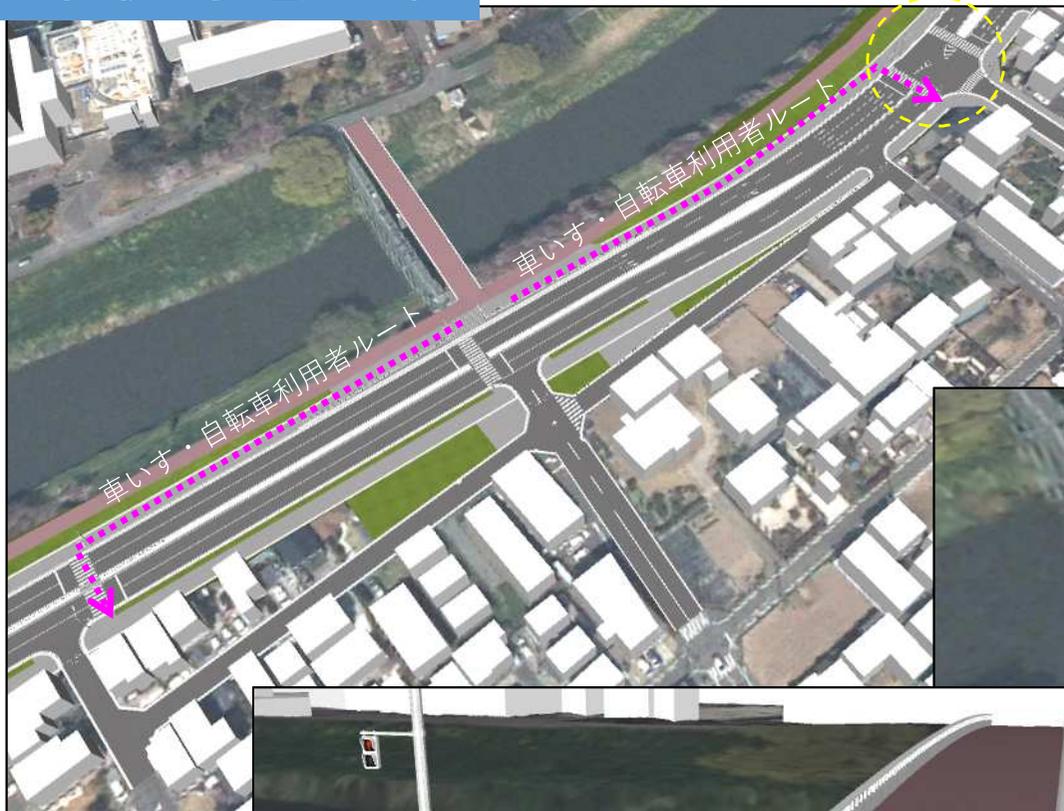
### 整備イメージ



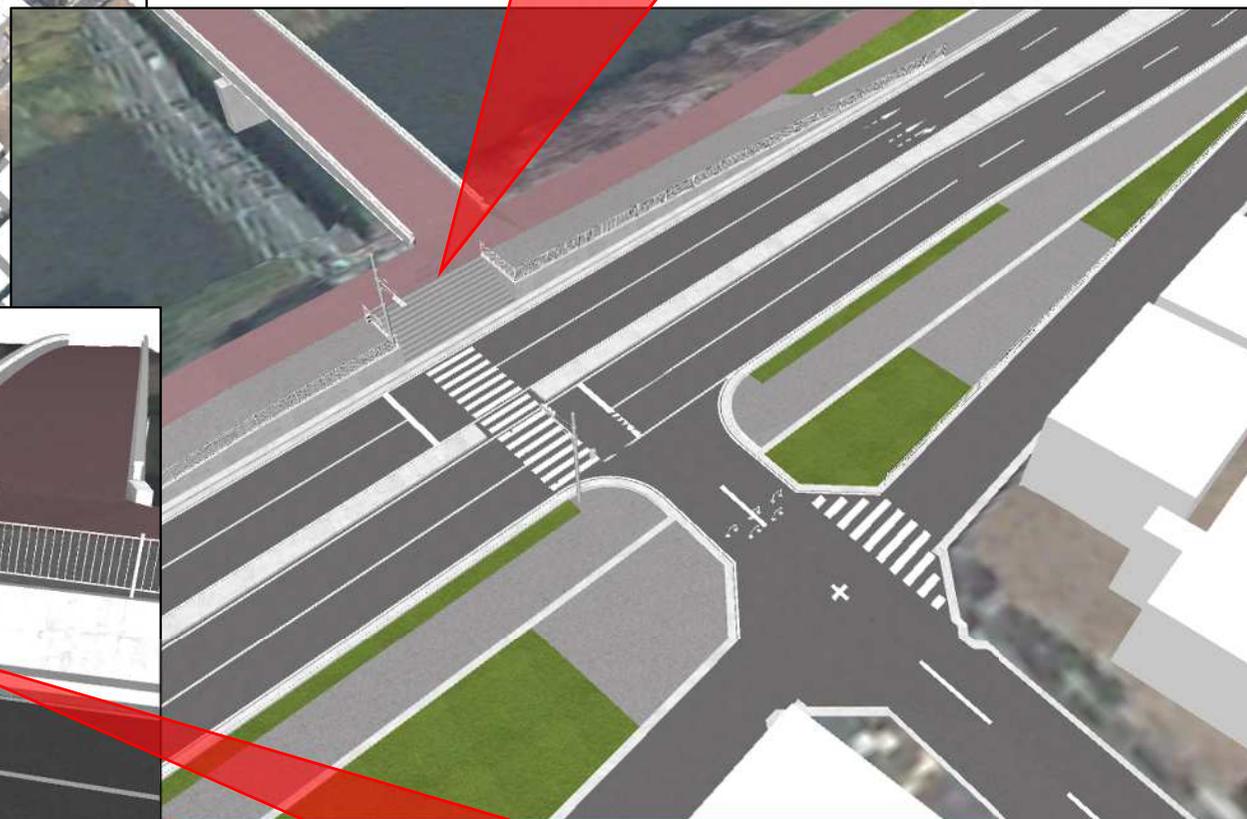
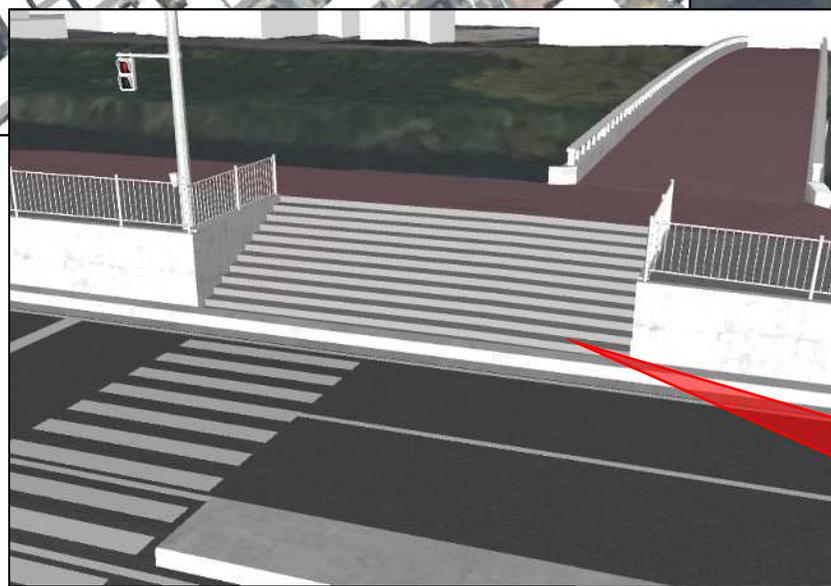
表示している内容は検討の前提のものであって、確定していることではない

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 3案: 横断歩道追加案



高低差があるため、階段の設置が必要  
スロープや斜路付き階段の設置は、  
堤防道路が狭くなってしまうため困難



車いす、自転車等はスロープへ迂回が必要  
歩行者のたまり空間がない

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 4案:元荒川新設架橋案

### 元荒川に新設橋梁を設置し、河川横断箇所を増やす案

- 元荒川を渡る利用者が2橋に分散されるため、歩道の混雑緩和が期待される。
- 新設する橋の前の段差は比較的小さく、歩行者と自転車利用者は利用しやすい。
- 出津橋利用者は、前後の横断歩道へ迂回して横断する必要がある。
- 車いす利用者は、新設の橋から直線的に横断できない。
- 近接して橋を架橋することは、関係機関との協議が難航する可能性が高い。

### 整備イメージ

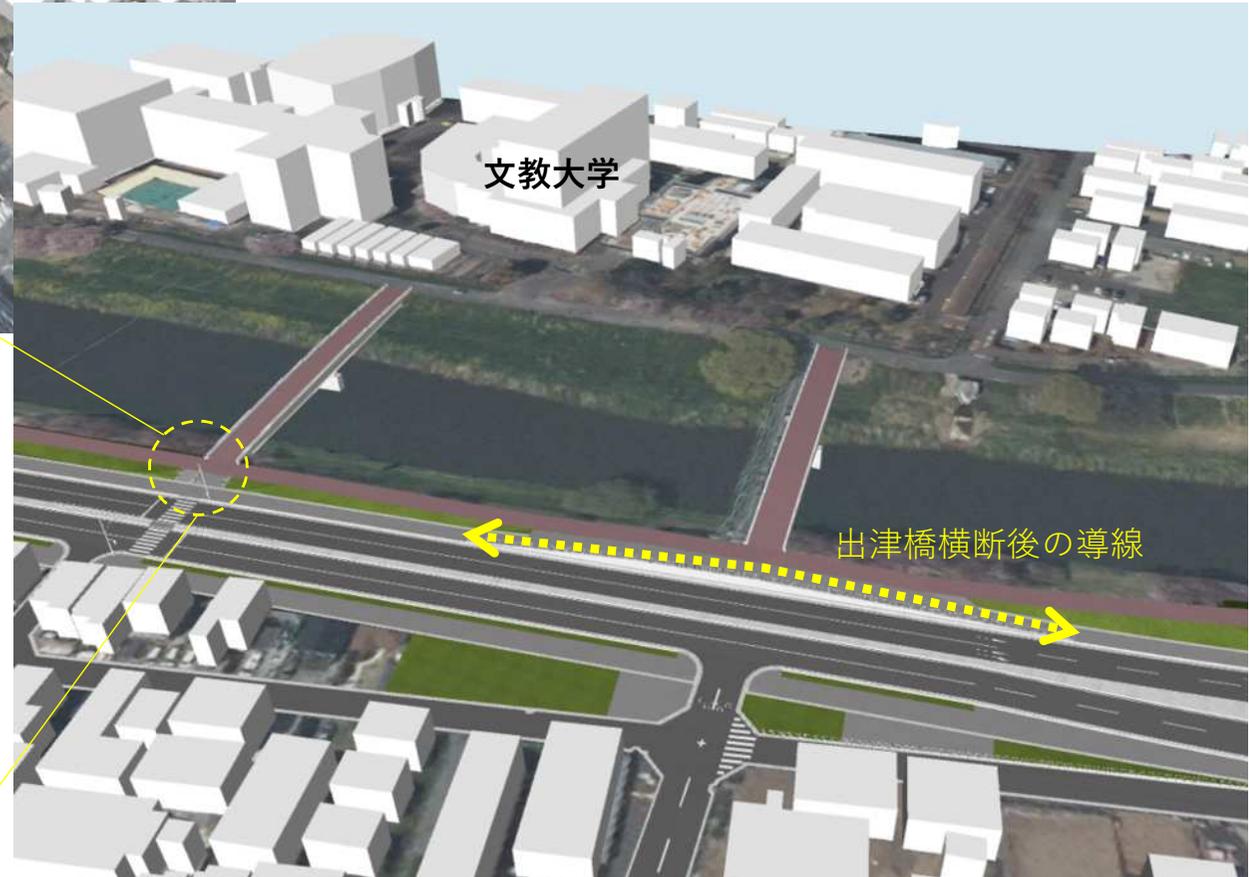


# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 4案: 元荒川新設架橋案



自転車利用者は通行できるが、車いす利用者は迂回する必要がある。



表示している内容は検討の前提のものであって、確定していることではない

# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 5案: 出津橋の架換え位置変更案

### 4案のうち、下流の1橋のみ設置する案（架橋位置を変更）

- 現在の出津橋よりも幅員を拡幅できれば、**歩行者の通行は良好**となる。
- **出津橋から直線的な横断はできない。**
- 出津橋の架橋位置を変更するにあたって、**関係機関との調整や地元との合意形成が必要**となる。

### 整備イメージ



# 出津橋周辺の円滑な横断手法に関する検討状況

## 5案: 出津橋の架換え位置変更案



車道よりも歩道が高いため、スロープによる擦付けが必要になる。

## 1 検討状況に関する報告

(1) 出津橋周辺の円滑な横断手法

**(2) 生活環境対策のうち騒音対策について**

2 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

3 今後のスケジュール

# 生活環境対策のうち騒音対策について（昨年度までの振り返り）

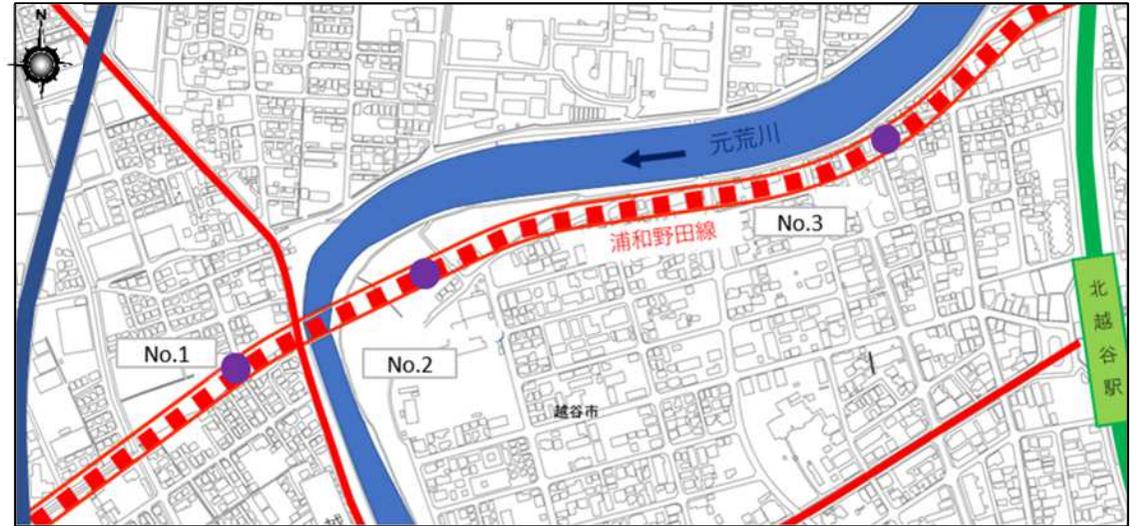
浦和野田線整備後の騒音の予測を以下3箇所で実施し、環境基準値を下回った

## 【予測条件】

- 予測箇所 道路と民地の境界（歩道端部）
- 車線数・幅員 4車線、25m
- 走行速度 60km/h
- 時間帯 昼間 6:00～22:00  
夜間 22:00～6:00
- 路面状況 平坦道路・排水性舗装

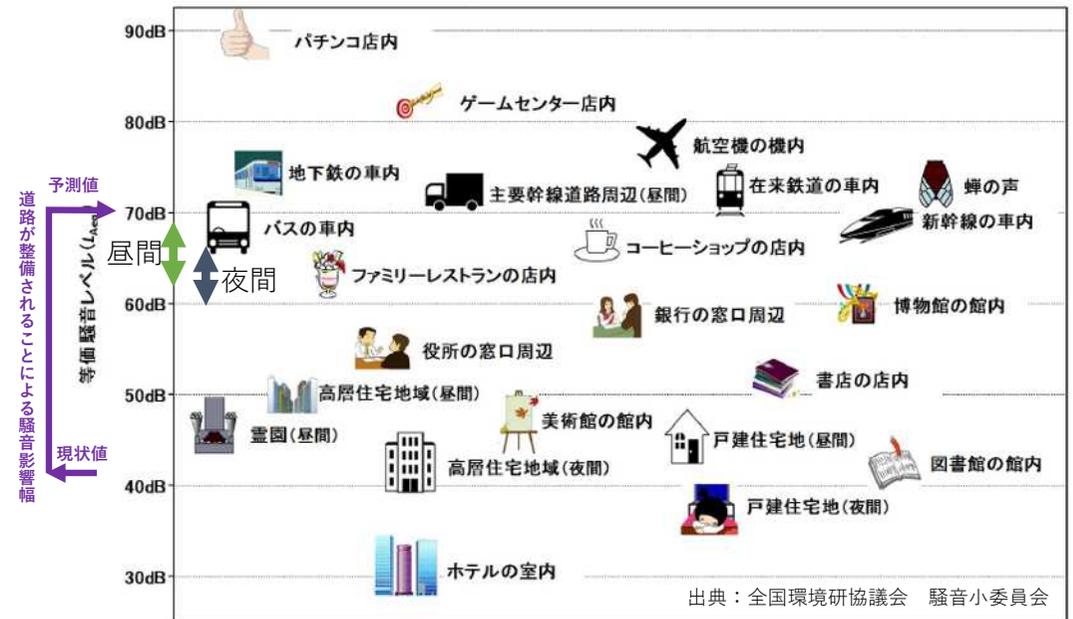


## 【位置図・横断図】



## 【予測結果】

予測地点	高さ	予測結果		環境基準		現状値	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
No.1	1.2m	68dB	64dB	70dB	65dB	45dB	45dB
	4.0m	67dB	63dB				
No.2	1.2m	66dB	62dB			49dB	46dB
	4.0m	66dB	62dB				
No.3	1.2m	68dB	64dB	42dB	40dB		
	4.0m	67dB	63dB				



## 騒音に関していただいている主な意見

- 騒音・振動軽減の観点から、**植樹帯及び遮音壁の連続的な設置**をお願いしたい。
- 家の目隠しの観点からも**遮音壁の設置**をお願いしたい。
- 道路から数10m離れた箇所や川の対岸側（荻島地区）でどのくらいの騒音レベルになるか教えてほしい。

遮音壁(地先境界部)※イメージ



遮音壁(歩車道境界部)※イメージ



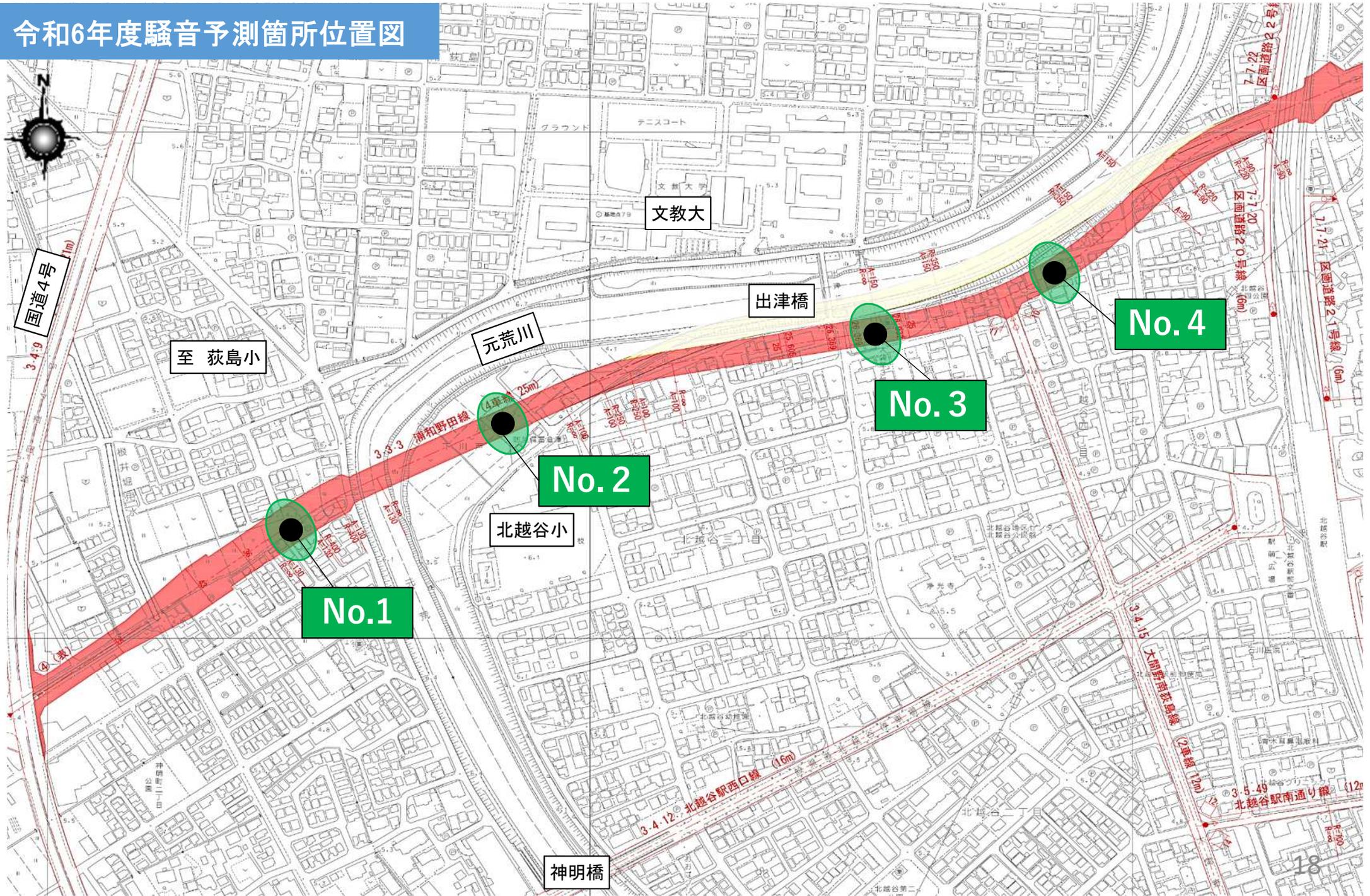
出典: 積水樹脂(株)カタログ

## 令和6年度検討内容

- 車両騒音の影響範囲を把握するための予測検討を行う。
- 騒音対策として遮音壁を設置することについて、出入りや設置に伴う防音効果などを踏まえ、**遮音壁の高さ、配置計画等を検討**。

# 生活環境対策のうち騒音対策について

令和6年度騒音予測箇所位置図



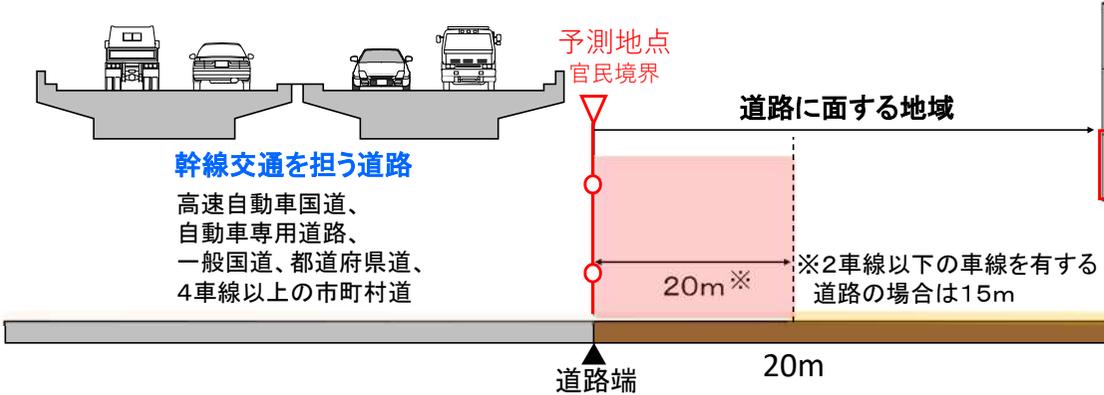
# 生活環境対策のうち騒音対策について

## 幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準値

No.1 No.2 No.3 No.4

【4箇所共通】

道路と民地の境界から **20m未満** の建物に対する環境基準値は70dB以下（昼間の場合）とする。



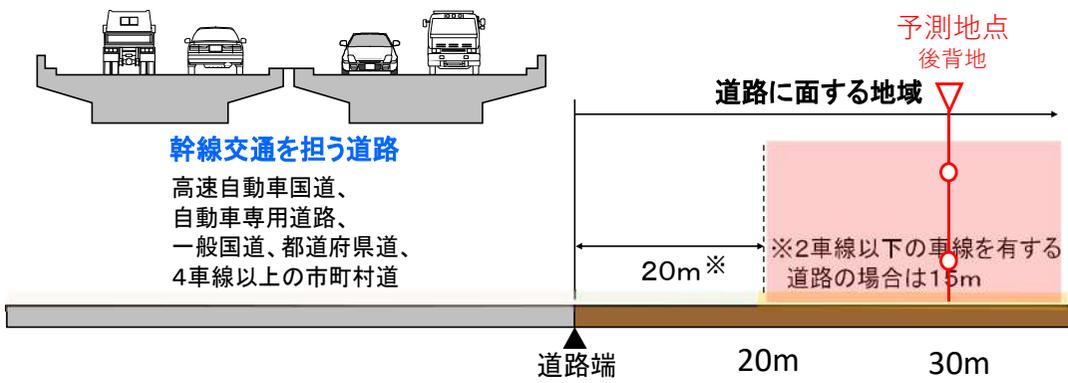
幹線交通を担う道路に近接する空間	
昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~翌6:00)
70デシベル以下	65デシベル以下

※ 道路中心から近接空間（官民境界より20m内）における環境基準値は1F高さ及び2F高さ同様の基準値。

## 20mよりも外側の住宅（道路に面する地域）に対する基準値

**20mよりも外側**の建物に対する環境基準値は各地点の用途地域基準値を適用する。

適用環境基準	(A地域)	(C地域)
背後地（昼間）	60dB以下	65dB以下
背後地（夜間）	55dB以下	60dB以下
該当箇所	No.1 No.2 No.3	No.4



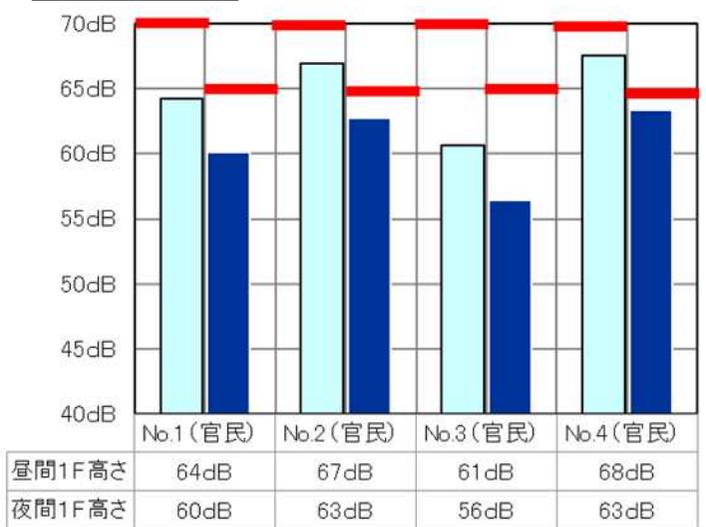
補足：A地域は住居専用地域、C地域は商工業地域という一般地域における用途範囲を表す。

# 生活環境対策のうち騒音対策について

・官民境界における予測結果  
 低層遮音壁（約1m）を必要な区間のみ設置することで、各予測地点において環境基準値以下の数値となることを確認した。

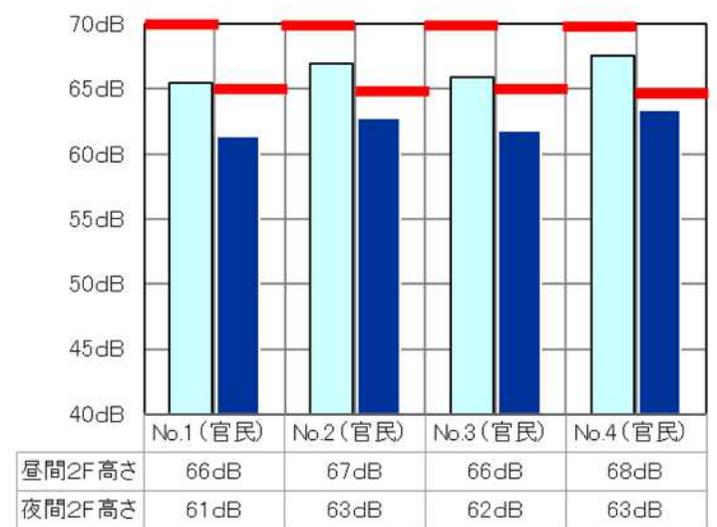


## 官民境界



□ 昼間1F高さ  
 ■ 夜間1F高さ

環境基準値 (赤線)  
 昼間: 70dB  
 夜間: 65dB



□ 昼間2F高さ  
 ■ 夜間2F高さ

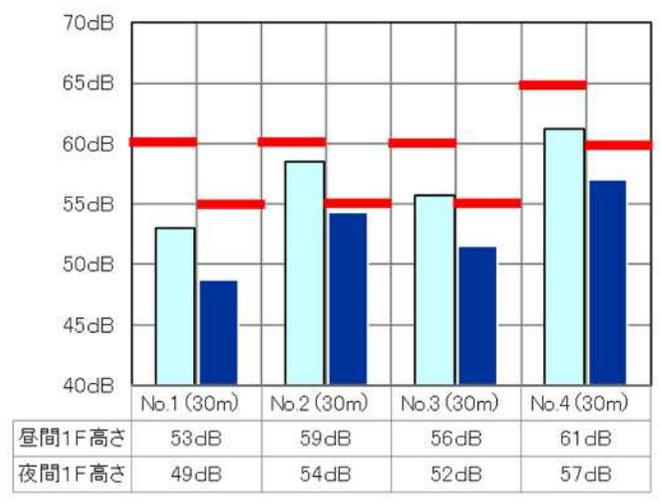
環境基準値 (赤線)  
 昼間: 70dB  
 夜間: 65dB

# 生活環境対策のうち騒音対策について

・官民境界から30m地点における予測結果  
 低層遮音壁（約1m）を必要な区間のみ設置することで、各予測地点において環境基準値以下の数値となることを確認した。

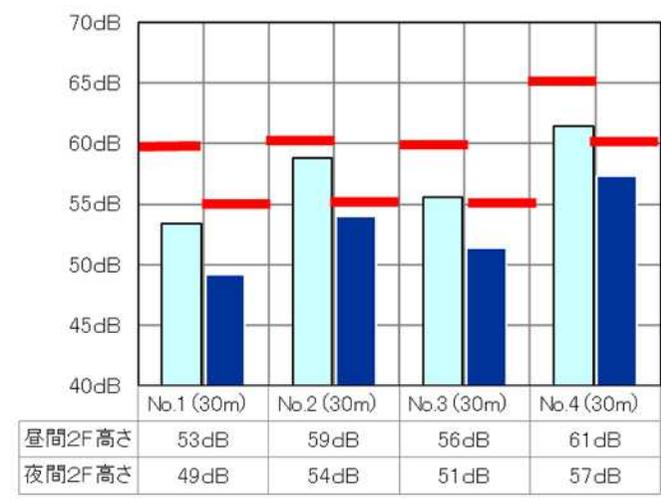


背後地  
 (官民境界より30m地点)



□ 昼間1F高さ  
 ■ 夜間1F高さ

環境基準値(赤線)  
 昼間: 60dB  
 夜間: 55dB  
**No.4のみ**  
 昼間: 65dB  
 夜間: 60dB



□ 昼間2F高さ  
 ■ 夜間2F高さ

環境基準値(赤線)  
 昼間: 60dB  
 夜間: 55dB  
**No.4のみ**  
 昼間: 65dB  
 夜間: 60dB

# 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

## 1 検討状況に関する報告

(1) 出津橋周辺の円滑な横断手法

(2) 生活環境対策のうち騒音対策について

## 2 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

## 3 今後のスケジュール

# 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

## ～ 第2回 オープンハウス型説明会開催のお知らせ ～

### 都市計画道路浦和野田線（元荒川工区）の整備について

皆様には、ますますの御清栄のこととお慶び申し上げます。  
 浦和野田線（元荒川工区）につきましては、第1回オープンハウス型説明会でいただいた御意見のうち、騒音対策と出津橋周辺の横断方法に関して検討を進めてまいりました。  
 当日は、これら検討結果を御覧いただき、担当者が御質問等に対応させていただきます。  
 お忙しい中、誠に恐れ入りますが、御参加いただきますようお願い申し上げます。  
 御来場の方は、御都合の良い「日時・会場」へお越しください。  
 なお、当日御都合の合わない方につきましては、説明会後にホームページへ当日の資料を掲載しますので、御質問等ございましたら下記までお問合せください。

#### 日時・会場

日にち	時間帯	対象地域	会場
令和6年11月29日（金）	18：30～20：30	北越谷地区	北越谷地区センター・公民館 会議室大 （北越谷4丁目8-35）
令和6年11月30日（土）	9：00～11：30		
令和6年12月1日（日）	10：00～12：00	荻島地区 神明町2丁目	荻島地区センター・公民館 学習室 A （南荻島 187-1）
	13：30～16：30		

#### 事業路線・区間



#### 問合せ先

埼玉県 越谷県土整備事務所 道路施設担当

住所：埼玉県越谷市越ヶ谷 4-2-82

電話：048-964-5223、mail：q645221e@pref.saitama.lg.jp

裏面に続く

#### 注意事項等

- 事前申し込みは不要ですが、会場の都合により、定員を超えた際は入場をお断りする場合がございます。  
 大変お手数おかけしますが、あらかじめ御都合の良い日時・会場にお越しください。
- 駐車場の台数に限りがございますので、お車の来場はお控えください。
- いずれの日時・会場でも説明する内容は同じです。
- 説明会資料等について、後日事務所ホームページに掲載いたします。
- 天候等の理由で中止する場合、現地及び事務所ホームページでお知らせいたします。

#### 【地域割】



#### 主な内容

- 生活環境（騒音等）対策のうち、騒音対策の検討結果の閲覧
- 出津橋周辺の円滑な横断対策について、検討結果の閲覧
- 担当者との意見交換 など

#### ホームページへの資料掲載

埼玉県越谷県土整備事務所ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1011/index.html>

PC用



クリック

モバイル用



#### オープンハウス型説明会とは

説明動画の上映や説明パネル（図面）等の展示と併せて、担当者が参加者の質問に対して説明をさせていただくとともに、幅広く意見等を伺う形式の説明会

※第1回オープンハウス型説明会の様子



#### 【オープンハウス形式開催による主なメリット】

- 開催時間帯が多いため、都合のいい時間帯に来ることが出来る。
- 集会形式の説明会よりも、より多くの人が質問を行うことが出来る。
- 集会形式の説明会では、質問しづらいような些細なことでも質問しやすい。

#### 【オープンハウス形式開催による主なデメリット】

- 住民同士の意見共有がしづらい。  
 ⇒ 質問のあった主な事項については、ホームページ等で公開予定。

# 今後のスケジュール（案）

## 1 検討状況に関する報告

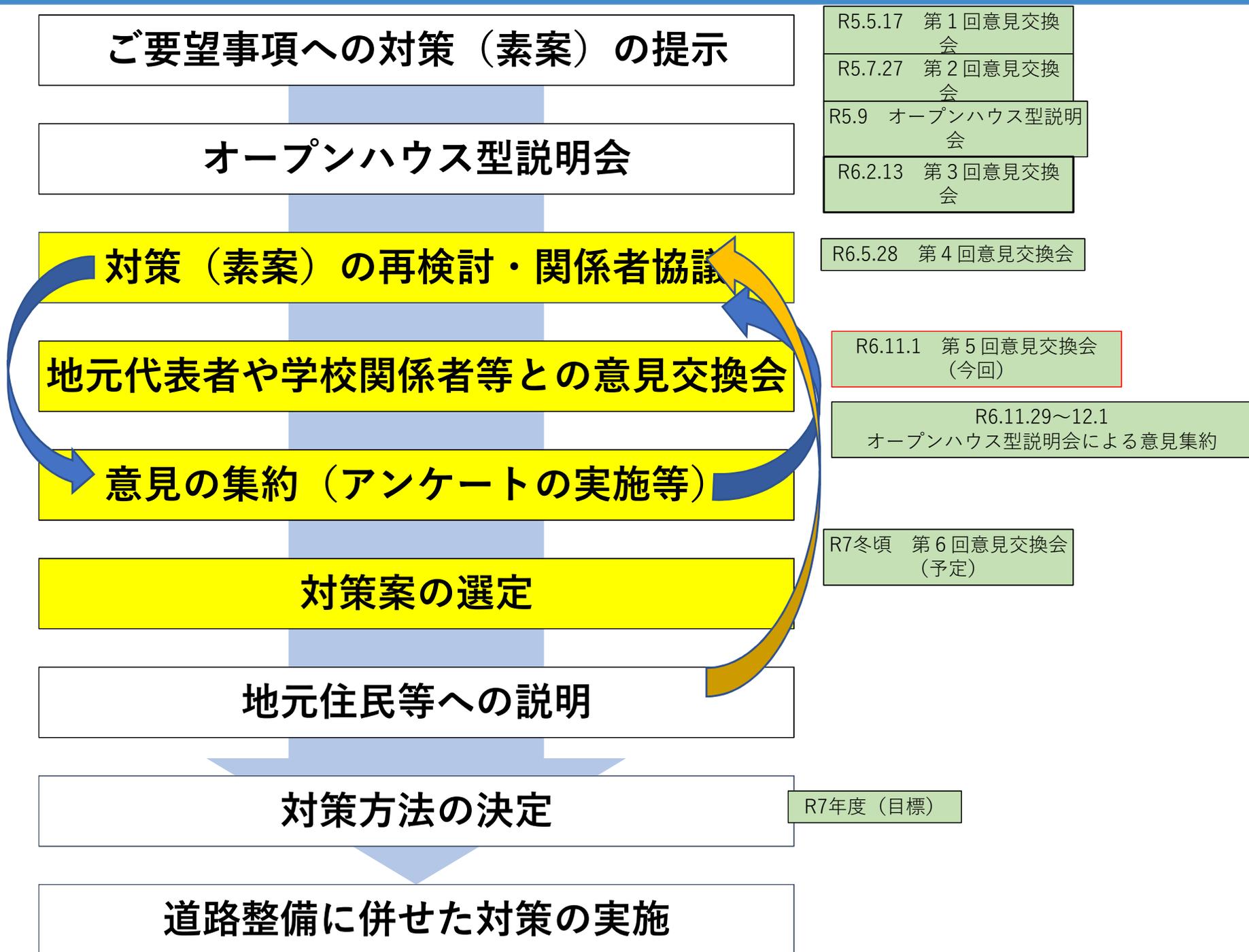
（1）出津橋周辺の円滑な横断手法

（2）生活環境対策のうち騒音対策について

## 2 第2回オープンハウス型説明会開催のお知らせ

## 3 **今後のスケジュール**

# 今後のスケジュール（案）



## 【事業全般に関すること】

埼玉県越谷県土整備事務所 道路施設担当

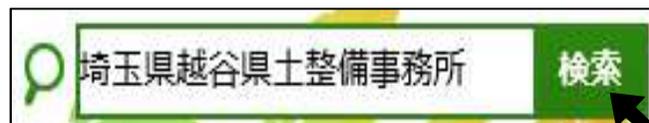
〒343-0813 越谷市越ヶ谷4-2-82

TEL : 048-964-5223 FAX : 048-960-1530

MAIL : [q645221e@pref.saitama.lg.jp](mailto:q645221e@pref.saitama.lg.jp)

ホームページ : <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1011/index.html>

PC用



クリック

モバイル用

